



宝生和英

明治八年能楽の曙光

梅若玄祥

狂言 「狐塚」 野村万蔵

能 「蟬丸」 宝生和英 梅若玄祥

平成26年12月23日(火・祝) 午後2時開演(午後1時開場)

チケット料金：S席7,000円/A席6,000円/B席5,000円

チケット発売：平成26年7月12日(土)正午から(初日は電話・Webのみ)

※電話予約開始日にチケットが売り切れた場合、窓口での販売はありません。

お申込み・お問合せ：横浜能楽堂 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2 電話 045-263-3055

Web：<http://www.ynt.yaf.or.jp>

主催：横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

横浜能楽堂

明治8年。それは、明治維新の混乱により衰退していた能楽界が再起の兆しを見せ始めた時期でもある。この年の大きな出来事として、現在の横浜能楽堂の舞台が前田齊泰邸内に造られたこと、そして一度は隠居し能楽界を離れていた宝生九郎が、梅若実の強い勧めにより舞台に復帰し、梅若舞台で実をツレに迎え「蟬丸」を舞ったことが挙げられる。梅若実、宝生九郎、前田齊泰、この3人の奔走により、翌年の岩倉邸での行幸啓能が成功し、本格的な能楽の再興へと向かっていく。



撮影：神田佳明

横浜能楽堂本舞台築140年の記念の年にあたる2014年、梅若実、宝生九郎、前田齊泰、彼らの功績を称え、明治8年に演じられた能「蟬丸」を再現。宝生流宗家・宝生和英が逆髪、梅若家当主・梅若玄祥が蟬丸を演じる。狂言は、その際併演された「狐塚」を前田家に縁の深い野村万蔵家・三宅家により上演する。

## 曲目解説

### 狂言「狐塚」(きつねづか)

今年は豊作ですが、鳥が田を荒らして困るため、主は太郎冠者を呼び出して鳥を追うように命じます。狐塚には狐が出て人を化かすと嫌がる太郎冠者に、主は鳴子を渡し、出かけさせます。田に着いた太郎冠者が、鳴子を振って鳥を追っていると、やがて日が暮れ夜になります。そこへ次郎冠者が見舞いにやってきますが、太郎冠者は狐が化けた姿であろうと思ひ込み……。

### 能「蟬丸」(せみまる)

延喜の帝(醍醐天皇)は、臣下の清貫に、第四皇子で盲目の蟬丸を逢坂山に捨て置き、出家させるように命じます。逢坂山に着いた清貫は、蓑、笠、杖を蟬丸に与え去っていき、ひとり残された蟬丸は琵琶を抱いて泣き伏します。この様子を憐れんだ博雅三位は、藁屋をしつらえ、蟬丸を住ませます。

蟬丸が藁屋で琵琶を弾いていると、姉宮の逆髪が現れます。逆髪は、逆さまに生い立つ髪を持つ故に狂乱となり、都を出て逢坂山まで彷徨い歩いてきたのでした。出会った二人は手を取り、互いの境涯を嘆き悲しみます。しかしながら別れの時が訪れ、逆髪は立ち去り、蟬丸は藁屋の軒に立ち、泣く泣く見送るのでした。

## 番組

### 狂言「狐塚」

太郎冠者 野村 万蔵  
主 三宅 右近  
次郎冠者 三宅 右矩  
後見 野村太一郎

### 能「蟬丸」

逆髪 宝生 和英  
蟬丸 梅若 玄祥  
清貫 殿田 謙吉  
輿舁 梅村 昌功  
野口 琢弘  
博雅三位 野村 萬  
笛 松田 弘之  
小鼓 大倉源次郎  
大鼓 亀井 広忠  
後見 武田 孝史  
小田切康陽  
地謡 観世鋏之丞 梅若 紀彰  
柴田 稔 馬野 正基  
浅見 慈一 長山 桂三  
谷本 健吾 安藤 貴康



### 宝生和英 (ほうしょうかずふさ)

シテ方宝生流二十世宗家。1986年生まれ。祖父・宝生英雄および父・宝生英照に師事。2008年東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業。同年4月に宗家を継承。「和の会」を主宰し、能楽の普及活動にも力を入れる。



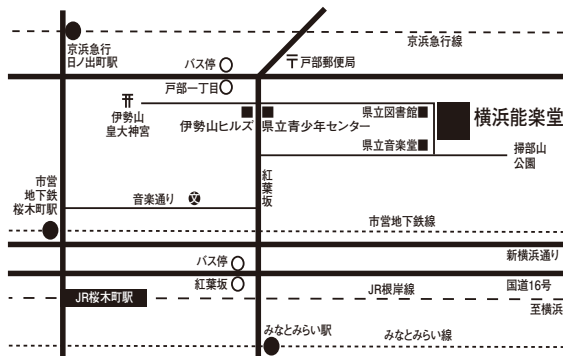
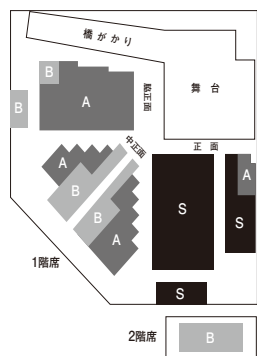
### 梅若玄祥 (うめわかげんしょう)

シテ方観世流。1948年生まれ。五十六世梅若家当主。祖父・二世梅若実および父・五十五世梅若六郎に師事。復曲、新作能も多数手がけるなど演出家としても活躍する。99年日本芸術院賞ほか受賞多数。日本芸術院会員。重要無形文化財総合指定保持者。



### 野村万蔵 (のむらまんぞう)

狂言方泉流。1965年生まれ。野村万蔵家九代目当主。祖父・六世野村万蔵及び父・初世野村萬に師事。05年九世野村万蔵を襲名。古典はもとより、復曲・新曲の能・狂言に多数出演。重要無形文化財総合指定保持者。



#### 交通のご案内

◇電車利用/JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分/みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分/京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分(タクシー利用は各駅共約5分)

◇バス利用/戸部1丁目(市営バス103系統)下車徒歩5分/紅葉坂(市営バス8、26、58、89、101、105、106系統/神奈中バス横43、横44、港61系統/江ノ電バス大船駅行、栗木行、京急バス110系統)下車徒歩10分 ※ 駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。

※ 内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。

〒220-0044 横浜市区西郷赤葉ヶ丘2-7-2

<http://www.yntyaf.or.jp>

tel.045-263-3055

横浜能楽堂